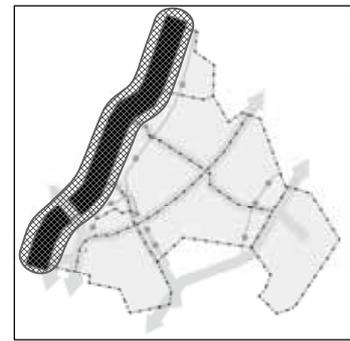


(3) 淀川景観軸

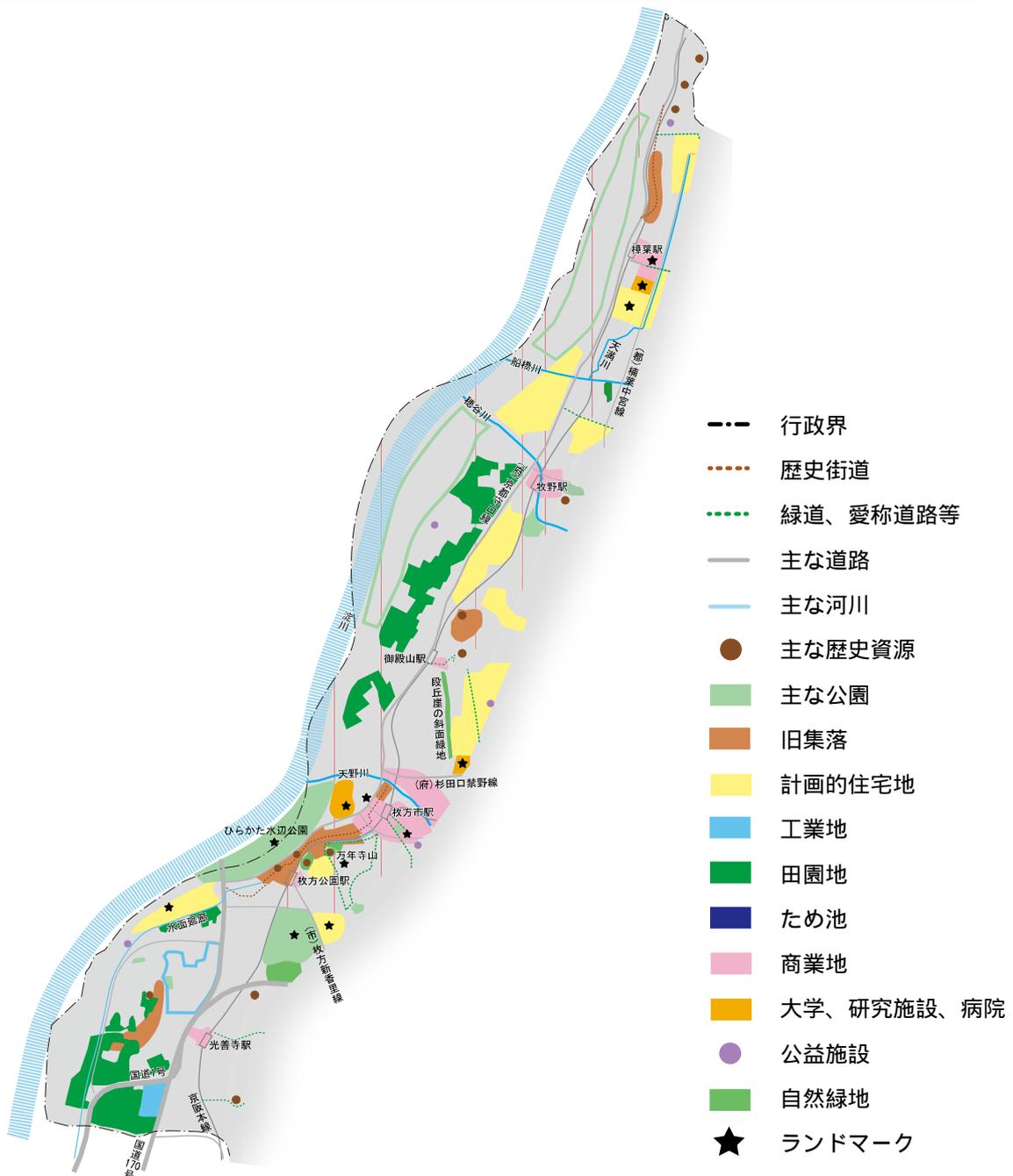
地域景観の課題と方向性

淀川は枚方市の西部を流れる川で、河川沿いの堤防上からは、市街地や北摂・生駒の山なみを広く眺めることができます。広大で自然の豊かな空間を有しています。南部ではひらかた水辺公園が整備され、多くの市民に利用されていますが、枚方市駅や樟葉駅を中心とした市街地からは、高い堤防や道路によってアクセスが困難な状況にあります。

今後は、中心地あるいは淀川の支流となる河川軸との連携を活かしながら、アクセスのしやすい市民に親しまれる本市の象徴としての河川空間を創造していきます。



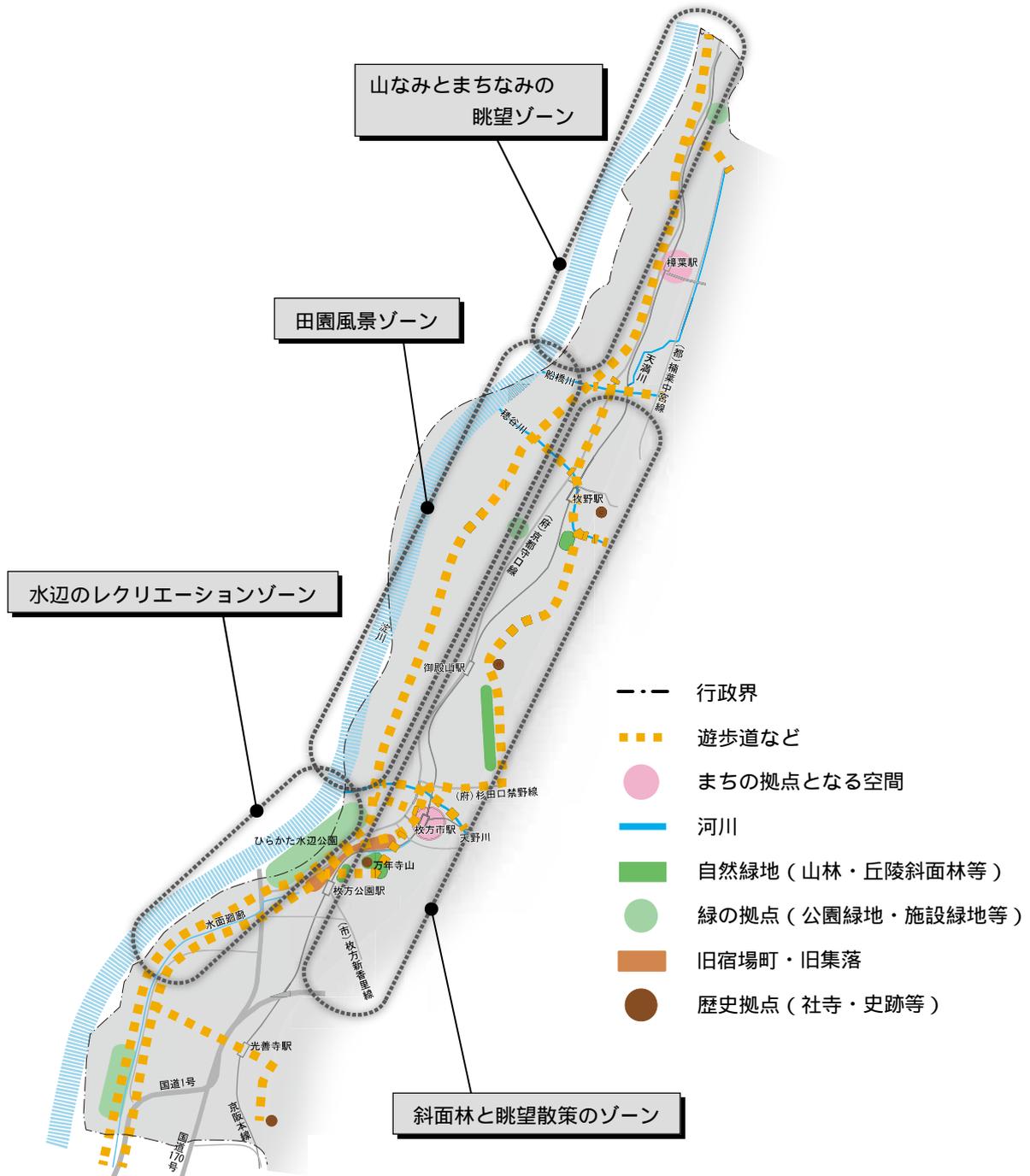
淀川景観軸 区域現況図



景観形成の方針

1. 枚方を象徴する「母なる川」としての自然景観の保全
2. 市民が身近に親しめる河川空間の形成
3. 河川に沿った斜面林の展望を活かした景観形成

淀川景観軸 景観形成概念図



景観形成の方向

山なみとまちなみの眺望ゾーン

淀川と沿川のまちとのつながりを深め、市民が気軽にまちなみや北摂の山々の壮大な眺望を楽しめる環境を整えます。

「眺望を楽しめる空間整備」

- ・河川空間を誰もが利用できる開放感のある場として整備・活用します。

「市街地からのアクセスの確保」

- ・樟葉駅や自然巡回路から淀川へのアクセスを確保します。



田園風景ゾーン

堤防上から山と川と田園の織り成すパノラマ景観を確保し、市民に開放された河川空間の創造を図ります。

「堤防上からのパノラマ景観の確保」

- ・堤防上や河川敷内を散策道やサイクリング道路、憩いの場として活用します。
- ・堤内地に展開する湿地や田園を景観資源として保全・活用します。
- ・御殿山駅から淀川へ導くアクセスを確保します。
- ・流域下水道渚水みらいセンターを市民の憩える拠点として活用するとともに、淀川へのアクセスを考えます。



水辺のレクリエーション

ひらかた水辺公園や水面回廊などの水を題材に整備された施設と歴史的街道などのネットワークを展開し、市街地から市民が容易に水辺に親しめる広大なレクリエーションゾーンをつくりだします。

「“水”を題材とする施設の整備とネットワーク」

- ・誰もが水と楽しめるスポーツレクリエーションの拠点を適切に維持管理します。
- ・駅から、ひらかた水辺公園や水面回廊、歴史的街道等へのネットワークを確保します。
- ・背景となる集落などの歴史的な景観資源を保全し、丘陵斜面林への視界を確保します。

【関連プロジェクト】

淀川河川公園基本計画
街なみ環境整備事業



斜面林と眺望散策のゾーン

まちを縁どる丘陵斜面地の樹林を保全・育成し、枚方を印象づける緑と眺望散策の軸をつくりだします。

「丘陵斜面林の保全・育成」

- ・枚方の市街地景観の特徴である丘陵斜面地に連続する緑の保全・育成に努めます。

「丘陵斜面林をぬける散策ルートへの整備」

- ・丘陵の斜面林と歴史資源を楽しみながら歩ける散策ルートや淀川・北摂の山なみを眺望できる広場の整備を図ります。



淀川景観軸 景観形成構想図

